

事務連絡
平成23年12月28日

関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議
関東東海・土壌肥料部会長 木村 武

平成23年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海・土壌肥料研究会の開催について

標記研究会の開催については別途公文でお知らせ致しております。下記のとおり実施致しますので、関係者のご出席と資料作成をお願い申し上げます。

記

1. 開催日時：平成24年2月21日(火) 9:00～16:30
(9:00～12:00は総合研究推進会議土壌肥料研究会と共催)

2. 開催場所：農林水産技術会議事務局筑波事務所共同利用施設 第1、第2会議室

3. 研究会

1) 第1分科会 (9:00～12:00、第1会議室)

「メタボローム解析技術の農業への展開」 (総合研究推進会議土壌肥料研究会と共催)

コーディネーター：農研機構・中央農研 松永俊朗

- ①NMR法によるメタボローム解析の現状と農作物解析への応用
(農研機構・食総研 関山恭代)
- ②マルチオミックス解析による高温登熟耐性イネ開発の試み
(農研機構・中央農研 山川博幹)
- ③農作物のメタボローム解析
(理化学研究所・植物科学研究センター 及川 彰)
- ④農業現場でのメタボローム解析の必要性和簡易分析化
(農林業・林 浩昭)

2) 第2分科会 (9:00～12:00、第2会議室)

「土壌生物を利用した減肥技術開発の現状と普及に向けた取り組み」 (総合研究推進会議土壌肥料研究会と共催)

コーディネーター：農研機構・中央農研 唐澤敏彦

- ①土着VA菌根菌を利用したリン酸減肥技術の開発と普及に向けた道総研の取り組み
(農研機構・北農研 岡 紀邦 (独) 道総研中央農業試験場 塚本康貴)
- ②VA菌根菌接種によるネギへのリン酸減肥技術の開発
(山形大学 俵谷圭太郎)
- ③畑土壌での難溶性リンの蓄積実態と牛ふん堆肥や土着リン溶解菌を利用したリン可給化の可能性
(帯広畜産大学 谷 昌幸)
- ④マメ科緑肥(バッチ類)への根粒菌接種技術の開発と後作物の窒素減肥の可能性
(秋田県立大学 佐藤 孝)

3) 第3分科会 (13:30～16:30、第1会議室)

「関東東海都県における重点課題」

4) 第4分科会 (13:30～16:30、第2会議室)

「都道府県が環境 DNA 解析手法に期待することは何か」

コーディネーター：農研機構・中央農研 長岡一成

- ①DGGE 解析に基づく土壌診断と病害低減に関わる微生物の分離～トマト褐色根腐病の解析事例～
(農研機構・近中四農研 関口博之)
- ②土壌生物性解析による土壌病害発生危険度予測の試み
(長野県野菜花き試験場 藤永真史)
- ③有機質施用後の果樹園土壌の PCR-DGGE 土壌生物相解析—ゼロから PCR-DGGE を行うためには—
(静岡県農林技術研究所 小杉 徹)
- ④土壌消毒処理の違いが微生物相に及ぼす影響から考えたこと
(茨城県農業総合センター 内田智子)

※なお、分科会テーマ、講演タイトルについては、変更される可能性があります。また、翌 22 日 (水) には、土・水研究会「福島第 1 原子力発電所事故による農業環境の放射性汚染—この一年の調査・研究と今後の展望」がエポカルつくばにて開催されます。

4. 提出資料、締め切り日

1) 研究発表申し込み

第 3 分科会では計 9 課題程度の研究発表・意見交換を予定しています。希望する**発表課題名、発表者氏名、機関名、部署名**（各都県 1 課題以内）を**1 月 13 日（金）**までに部会事務局 kanto-dohi@naro.affrc.go.jp へお知らせください。

2) 発表時間割

発表していただく時間割については、1 月 17 日までに部会事務局より通知いたします。各課題の発表時間は、全課題数に応じて調整いたしますが、質疑を含め 20 分程度を予定しております。

3) 発表要旨資料

特定の様式は定めません。A 4 縦置きで余白を各々 25mm 以上としてください。

資料はメール添付ファイルとして、**2 月 10 日（木）**までに、部会事務局 kanto-dohi@naro.affrc.go.jp へ提出してください。

5. 部会情報交換会

土壌肥料部会の情報交換会を開催します。

日 時：2 月 21 日（火）、17：30～

場 所：筑波事務所共同利用施設食堂

参加費：3,000 円

6. 参加申し込み

添付（本文書 3 ページ目）の申込書に必要事項を記入し、所属ごとに取りまとめのうえ、**1 月 20 日（金）**までに部会事務局 kanto-dohi@naro.affrc.go.jp に提出してください。

7. 参集範囲

関東東海都県試験研究機関、独法試験研究機関（農環研、国研センター）、農研機構（本部、内部研究所）、その他土壌肥料部会長が認めた者

8. 部会事務局

中央農業総合研究センター土壌肥料研究領域 新良力也

TEL：029-838-8527 FAX：029-838-8484（共用）

E-mail：kanto-dohi@naro.affrc.go.jp

〒305-8666 つくば市観音台 3-1-1

平成23年度関東東海・土壌肥料研究会
 参加申込書(締め切り平成24年1月20日)

場所名:

所属	氏名	性別	役職	電話番号	*1 宿泊 2/21	*2 情報 交換 会

*1 筑波事務所研修生宿泊施設(2月21日夜)を手配致します。必要な方は○を記入してください。
 *2 情報交換会(2月21日 17:30～、会費 3000 円)を筑波事務所食堂で開催致します。参加を希望される方は○を記入してください。